

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和6年度河川環境の評価手法等に関する検討業務
業 務 概 要	本業務は、河川管理者がより効果的・効率的に河川環境の保全・創出を図ることができるようするため、事業評価手法の改善や、河川環境が有する経済的な価値を定量的に評価・金銭価値化する手法、官民連携による河川環境の保全・創出の手法等を検討することを目的とする。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 中国地方整備局長 中崎 剛 広島市中区上八丁堀6-30
契 約 年 月 日	令和 6年 6月18日
契 約 業 者 名	(公財) リバーフロント研究所
契 約 業 者 の 住 所	東京都中央区新川1-17-24
契 約 金 額	41,910,000円(税込み)
予 定 価 格	41,965,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙「契約理由書」のとおり
業 務 場 所	中国地方整備局
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	令和 6年 6月19日
履 行 期 間 (至)	令和 7年 2月28日
備 考	入札情報サービス (PPI) (https://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

契約理由書 (プロポーザル方式)

契約業者名： 公益財団法人リバーフロント研究所

業務の名称： 令和6年度河川環境の評価手法等に関する検討業務

契約理由：

本業務は、河川管理者がより効果的・効率的に河川環境の保全・創出を図ることができるようするため、事業評価手法の改善や、河川環境が有する経済的な価値を定量的に評価、金銭価値化する手法、官民連携による河川環境の保全・創出等を検討することを目的とする。

業者の選定にあたっては、簡易公募型プロポーザル方式を採用し、配置予定技術者の経験及び能力、実施方針・実施フロー・工程計画・その他、評価テーマに関する技術提案について総合的に評価を行った結果、会計法第29条の3第4項、予算決算及び会計令第102条の4第3号により、上記業者と契約を行うものである。